

第71回安田記念(GI)優勝馬ダノンキングリー



### 前走最下位からの逆転劇

“無冠”の大器が7度目のG I 挑戦で悲願の初タイトルを獲得した。

戦前の絶対的な主役は連覇を目指すグランアレグリアだった。2000年の大阪杯は重馬場の影響もあって4着と敗れたが、その次走のヴィクトリアマイルでは力の違いを見せつける4馬身差の圧勝。G I 通算5勝目を挙げた2020年のJRA賞最優秀短距離馬が、単勝1.5倍と圧倒的な1番人気に推されていた。

続く2番人気は2019年の覇者インディチャンプ。3番人気は朝日杯フューチャリティS勝ち馬のサリオスで、4番人気はNHKマイルCを差し切ってきたレース唯一の3歳馬シュネルマイスター。他にもダノンプレミアム、ラウダシオンと、いずれもマイルG I 勝ちのあるタイトルホース6頭が顔を揃えた。

しかし勝ったのは、これまでG I 勝利のないダノンキングリーだった。

直線、まず好位から抜け出してきたのはインディチャンプだった。外からシュネルマイスターとダノンキングリーがこれを追う。さらに、グランアレグリアが後方からやって来た。ケタ違いの瞬発力で馬群を割り、インディチャンプの内から鋭く伸びる。

だが、ドラマには続きがあった。大外から伸び続けたダノンキングリーがシュネルマイスターを競り落とし、インディチャンプを交わす。最後に離れた内にいたグランアレグリアをアタマ差制したところがゴールだった。

皐月賞3着、日本ダービーではロジャーパローズのクビ差2着。その後もマイルチャンピオンシップ5着、大阪杯は1番人気で3着など、どうしてもタイトルに手が届かずにいた。前走の天皇賞(秋)は最下位の12着。萩原清調教師が「出走できるレベルになるまで時間がかかりました」と語ったように、じっくり立て直し、ここは約7か月ぶりの実戦。グレード制導入後、前走最下位からのG I 制覇はJRA所属馬では初のことだった。

鞍上の川田将雅騎手は、ダノンキングリーとはこれが初コンビ。末脚を目一杯まで引き出した好騎乗で、素質馬のG I 初制覇をアシストしてみた。



▲ダイワキャグニー(帽色・赤・右)を先頭に直線へ向かう各馬。

▶単勝4760円は安田記念(GI)史上、最高配当



#### 第71回安田記念(GI)

6/6 東京競馬場 1600m(芝・左) 曇・良 14頭

| 着順 | 馬名        | 性別 | 年齢 | 斤量 | 騎手     | 調教師   | タイム/差  | 人気 | 通過順位 |
|----|-----------|----|----|----|--------|-------|--------|----|------|
| 1  | ダノンキングリー  | 牡  | 5  | 58 | 川田 将雅  | 萩原 清  | 1:31.7 | ⑧  | ⑧⑧   |
| 2  | グランアレグリア  | 牝  | 5  | 56 | C.ルメール | 藤沢 和雄 | アタマ    | ④  | ⑪⑪   |
| 3  | シュネルマイスター | 牡  | 3  | 54 | 横山 武史  | 手塚 貴久 | 1/2    | ①  | ⑤⑤   |
| 4  | インディチャンプ  | 牡  | 6  | 58 | 福永 祐一  | 音無 秀孝 | クビ     | ②  | ⑤⑤   |
| 5  | トラスジェミニ   | 牡  | 5  | 58 | 戸崎 圭太  | 小絵山 悟 | 1 1/4  | ⑬  | ②②   |
| 6  | カテナ       | 牡  | 7  | 58 | 武 豊    | 中竹 和也 | 1/2    | ⑭  | ⑫⑫   |
| 7  | ダノンプレミアム  | 牡  | 6  | 58 | 池添 謙一  | 中内田充正 | 1      | ⑩  | ③③   |
| 8  | サリオス      | 牡  | 4  | 58 | 松山 弘平  | 堀 宣行  | クビ     | ③  | ⑨⑨   |
| 9  | ギベオン      | 牡  | 6  | 58 | 西村 淳也  | 藤原 英昭 | 1 1/4  | ⑪  | ⑤⑤   |
| 10 | ケイデンスコール  | 牡  | 5  | 58 | 岩田 康誠  | 安田 隆行 | アタマ    | ⑥  | ⑨⑨   |
| 11 | ダイワキャグニー  | 騾  | 7  | 58 | 石橋 脩   | 菊沢 隆徳 | 1      | ⑫  | ⑪⑪   |
| 12 | カテドラル     | 牡  | 5  | 58 | 田辺 裕信  | 池添 学  | アタマ    | ⑨  | ⑫⑫   |
| 13 | カラテ       | 牡  | 5  | 58 | 菅原 明良  | 高橋 祥泰 | 1 1/4  | ⑩  | ⑫⑫   |
| 14 | ラウダシオン    | 牡  | 4  | 58 | M.デムーロ | 斉藤 崇史 | 9      | ⑦  | ③③   |

単勝 ①4,760円 複勝 ①710円 ⑤110円 ⑬240円 枠連(4-7) 720円  
馬連 ⑤-⑪2,950円 馬単 ⑪-⑤12,090円 ワイド ⑤-⑪1,160円 ⑪-⑬5,460円 ⑤-⑬400円  
3連複 ⑤-⑪-⑬8,860円 3連単 ⑪-⑤-⑬110,420円

ハロンタイム 12.3-11.0-11.6-11.5-11.4-11.2-11.0-11.7  
通過タイム 600m ③34.9-800m ④46.4-1000m ⑤57.8-1200m ⑥1:09.0-1400m ⑦1:20.0

#### 優勝馬 ダノンキングリー

2016.3.25生 父ディーフィンバウト 母マイグッドネス 母の父Storm Cat  
浦河・三嶋牧場生産 馬主:(株)ダノックス